

父と子のDIYボランティア体験事業報告書

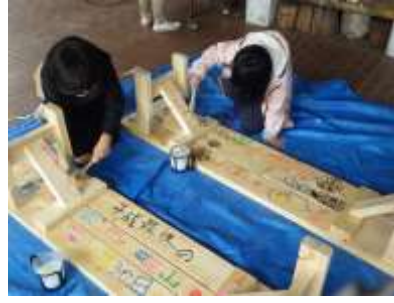
- 1 趣旨 父と子が一緒にものづくりボランティアの体験をすることで、親子や家族同士の交流を深めるとともに青少年育成への参画の機会とする。
- 2 主催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家
- 3 協賛 有限会社 伊藤ハウジング
- 4 期日 2019年4月29日（月・祝）～ 2019年4月30日（火・祝） 1泊2日
- 5 内容 野外炊事場で使用するテーブルと椅子の製作
- 6 場所 国立花山青少年自然の家本館
- 7 募集対象 小学校3年生から6年生とその父親 15家族  
参加状況 7家族15名
- 8 企画運営のポイント  
今年度からの新規事業である。DIYという性質上、指導者として地元の工務店に協力を要請した。また、父と子が製作した作品を家族で鑑賞できるように秋にフォローアップキャンプを企画した。

9 活動プログラム

4月 29日 (月)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
					集合受付	開講式	ガイダンス	昼食	作業① 墨付け カット 組み立て(いす)			移動・荷物整理	夕べのつどい	夕食・休憩	親子別プログラム	入浴・休憩	就寝
4月 30日 (火)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		起床・洗面	朝のつどい	朝食	部屋清掃	部屋点検	作業② 組みたて(テーブル) ニス塗り		昼食	作業③ 仕上げ (名前やイラストを描きます。)		閉講式	※親子別プログラム 子:レクリエーション 親:情報交換会 (会費別途1,000円)				

10 活動の内容について





## 11 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果（アンケート回収率 100%）

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

アンケートの結果から大変好評だったことが分かる。見通しをもって作業できるようにしたこと、専門的な指導者から作業のコツや工具の使い方を学ぶことができたこと、それによって親子で作品を作り上げることができたことで参加者の満足度が高まったと思われる。

### (2) 参加者の声

- ・ 私たち家族は全くの初心者でのこぎりすらほとんど持ったことがなかったが、適度に経験のある方が同じグループだったのでスムーズに作業することができた。
- ・ 普段あまりやらない木工に子ども達は夢中になっていた。
- ・ ボランティアという要素があり、他への貢献ができる点で満足度が高かった。
- ・ 普段できない活動だったので、2日間楽しくできた。家に帰った後も家族でやってみたい。
- ・ 情報交換会は少人数ながら色々と話が聞けてよかった。グループが別の家族とはあまり交流がなく少々寂しく思った。次回はグループ以外のファミリーとも交流できる機会があるとさらに良いと思う。
- ・ 伊藤ハウジングの方々のサポートが大変有意義だった。

### (3) 成果

- ・ 墨付けの仕方やインパクトドライバーの使い方など、専門の職人さんから指導を受けることができた。
- ・ 参加者全員が親子で大きな作品を作り上げる達成感を味わうことができた。
- ・ 自分たちの作品が施設利用者のためになるというボランティア要素が参加者の成就感を高めることにつながった。
- ・ おやじの会と連携した広報活動によって、本事業を広く知ってもらうことができた。

### (4) 課題

- ・ 今回は、フォローアップキャンプで作品を母親に披露する計画ではあるが、製作過程から母親も参加すると、親子の交流がより深まると思われる。
- ・ DIYに興味のある母親も多いので、次回からは母親も参加できるようにすると参加希望者が増えると思われる。

（企画指導専門職 高橋英樹）